

甲斐市議会議会改革特別委員会会議録

1. 開催日時 平成30年9月6日

2. 招集場所 甲斐市役所委員会室A

出席委員（9名）

委員長	清水正二君	副委員長	五味武彦君
	伊藤毅君		金丸幸司君
	滝川美幸君		松井豊君
	有泉庸一郎君		内藤久歳君
	藤原正夫君		

議長	長谷部集君	副議長	小澤重則君
----	-------	-----	-------

欠席委員（なし）

職務のために出席した者の職氏名

議会事務局長	岩下和也	書記	興石文明
書記	小澤裕一	書記	中込美智子

内容

- 1 調査・検討基礎資料及び各委員の意見について
- 2 市民参加による議員研修会開催について
- 3 その他

開会 午後 1時26分

○書記（輿石文明君） 改めまして、こんにちは。

ただいまから議会改革特別委員会を始めさせていただきます。

初めに、委員長挨拶。

清水委員長、よろしくお願いいたします。

○委員長（清水正二君） 本日の議会改革特別委員会ご出席ご苦労さまでございます。

つい先日、甲斐市では防災訓練をしたばかりなんですけれども、台風21号で大阪が大変な被害というふうな事の中で、またけさは北海道で震度6強というふうな地震で約300万世帯が電力を失っているということで、先ほどのニュースですと、全電力が復旧するまでには本州のほうからの電力応援を受けても1週間ぐらいかかるというふうな話でした。

災害というのは、防災のときにも私が地区の中でも言ったんですけれども、いろいろ空振りに終わっても、やはり常の備えが大事ではないかなというふうに思うんですけれども、議会改革を通して、またそういった災害に強いまちづくりというふうなことも考えていかないといけないんじゃないかなというふうに感じております。

今回、また前回に引き続いて、議会改革、日程表に基づいて行いたいと思います。よろしくをお願いいたします。

○書記（輿石文明君） ありがとうございます。

続きまして、議長挨拶、長谷部議長、よろしくお願いいたします。

○議長（長谷部 集君） 改めまして、こんにちは。

9月定例会直前の大変お忙しい時期にもかかわらず、委員会にご参集をいただきまして、まことにありがとうございます。

前回検討いたしました研修会等の日程も決まってきましたので、その形態につきましても、またご議論いただきたいというふうに思っております。

議会改革がスムーズに進みますよう、皆様のご協力をお願いいたしまして、挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

○書記（輿石文明君） ありがとうございます。

それでは議事の進行につきましては、清水委員長、よろしくお願いいたします。

○委員長（清水正二君） それでは、議事を進めたいと思います。

ただいまの出席委員は8名です。定足数に達しておりますので、これより議会改革特別委

員会を開催いたします。

また、内藤委員におかれましては遅刻の連絡がありましたので報告をいたします。

○委員長（清水正二君） それでは、本日の会議を開きます。

それでは、内容に入ります。

内容（１）調査・検討基礎資料及び各委員の意見についてを議題といたします。

初めに、基礎資料について事務局の説明を求めます。

興石係長。

○書記（興石文明君） 資料についてご説明いたします。

通知と一緒に配付した物と同様でございますけれども、議員定数順のほうをごらんいただきたいと思います。

こちらのほう、定数順となっております。

めくっていただきまして、２枚目の一番下段ですけれども、平均値を計算してございますので参考にいただければと思います。

また、もう１枚のほうは報酬順となっております。一番上が議員報酬55万円、２ページの一番下が30万3,000円というような報酬順でございますので、ご参考にいただければと思います。

山梨県内の定数、報酬につきましては、前回と変更はございません。

説明は以上です。

○委員長（清水正二君） 説明が終わりました。

どなたか、ご意見がございますか。この基礎資料についてのご意見を伺います。

五味副委員長。

○委員（五味武彦君） この表は、それぞれ各議員さんに配ってあるということでしょうか。

それとも、きょうが終わってから配る物もあるということでしょうか。

○委員長（清水正二君） 興石係長。

○書記（興石文明君） きょうの資料と一緒にメールボックスのほうへ投函いたします。

○委員（五味武彦君） きょう送るということでしょうか。

はい、わかりました。

○委員長（清水正二君） ほかに、前回のときの埋まってないところが埋まっているわけですが、けれども。

この資料、今現在、議員の定数順で並んでおりますけれども、ほかに並びかえの順序として、こっちのほうがいいよというご意見があれば。

よろしいですか、余り資料が多くてもあれですけれども。

今現在、定数順と報酬順でお配りしてはございますけれども、これをまた参考にして、委員会の中でまたご討議とか、いろいろいただきたいと思います。

よろしいですか。

〔発言する者なし〕

○委員長（清水正二君） それでは、基礎資料についてを終わります。

次に、各委員の意見についてですが、前回決定した資料1ページのスケジュールでは、第4回の今回各委員の意見聴取となっておりますが、私としては全議員を対象に、今お手元に配付いたしましたアンケート調査を行いたいと考えておりますが、いかがでしょうか。

これについてご意見をいただきたいと思います。

委員の意見ですが、前々回、議員の意見もというふうな話の中で、大枠の中で各議員から議員の意見というか、それをアンケートにしてとりたいというふうに考えております。

お手元に資料がありますが、一応私と副委員長と、それから事務局を含めて、项目的に設問を出してみました。このほかに、こういったことも加えたほうがいいよというふうなものがあれば、こういったアンケートもしたほうがいいふうな形の中でご意見があればいただきたいと思うのですが。

金丸委員。

○委員（金丸幸司君） 今、このアンケート用紙を見させてもらったのですが、もう一つ、全議員に配られるということなので、ちょっと下のここにフリーアンサー的なものを、何か書き込める欄というか、ちょっとそういうものがあるでもいいのではないかというふうに思うのですが。そういう中にはちょっと書き込みたいなんていう方がいるかもしれない。ちょっとその辺を。

○委員長（清水正二君） 意図としまして、できるだけ無記名でいきたいという形で、できれば無記名の中で、議員各位の本音を引き出していきたいというふうに考えてこういうふうな形をとりました。

自筆とか、それだと誰が書いたのかということがわかるという意味合いがありまして。

金丸委員。

○委員（金丸幸司君） 実名を載せるんじゃないかなというふうな欄があってもいいんじゃないのかなというふうな。

○委員長（清水正二君） すみません、ちょっと私の手違いがありまして、今ここにお示しましたけれども、皆さんに意見を聞く前に、こういうアンケートを実施したいということで考えておりますけれども、そういう形で進めるということによろしいでしょうか。

〔発言する者あり〕

○委員長（清水正二君） いいですか、申しわけございません。もう一回、話を戻します。

それでは、こういう形で進めるということで、金丸委員の別枠で、フリーで意見を書くところというところを設けたほうがいいということですが、ほかに。

滝川委員。

○委員（滝川美幸君） 政務活動費を考えたときに、それは全然報酬ではないから別になるという形ですか。

例えば、議員報酬の話をするときに、例えば議員報酬をもし減らすという意見が出たとして、それにあわせて政務活動費をふやしていただきたいというような意見もあると思うのですけれども、それは何か書くところがありますか。

○委員長（清水正二君） ちょっと休憩をいたします。

休憩 午後 1時38分

再開 午後 1時41分

○委員長（清水正二君） 再開いたします。

まず、滝川委員のほうからも意見が出ましたけれども、このほかに各議員の意見を聞きたいということでフリーで書き込むところがあってもいいのではないかなということなんです、これについてはどうでしょう、皆さん。

〔発言する者あり〕

○委員長（清水正二君） では、それをつけ加えることにいたします。

主に、この項目の中で、これは入れておいたほうがいいというところがありましたらお願いしたいのですけれども。

藤原委員。

○委員（藤原正夫君） やはり今、金丸委員が言ったように、そういうのがやっぱり必要だと思う。

この中に書けばいいのかな、議員報酬についてだけれども、2番の見直しの場合、月額どのぐらいかということであるのだけれども、この中にも議長、副議長もあれば、普通のあれもあるのだけれども、そういうのもこの欄に書けばいいという。必要ないと言えば必要ないか、議長。

これはあくまでも普通の、平らな議員のということ。

もし、そういうあれがあれば、その欄に書き込めばいいというような解釈でいいですかという質問ですけれども、意見ですけれども。

○委員長（清水正二君） 議員報酬が上がれば、それにスライドして当然副議長、議長の報酬体系もまた変わってきて見直すような形になると思いますけれども。

五味副委員長。

○委員（五味武彦君） 打ち合わせした中で、いろいろ言ったら申しわけないんですけれども、このアンケートはもちろん無記名ということなのですからけれども、無記名をどこかに書いておいてもらえればありがたいのですけれども、そのほかに、これをもって今後の方針にする、もちろんそれはそうなのですからけれども、基礎資料としてというふうな項目をつけておかないと、これで行ってしまうと、何か皆さん方どうなのだろうなど。あくまで概略、どういう方向性を持つためのアンケートですよという意味合いのアンケートだと思うんですよ。

この辺の文言をちょっと入れてもらえるとどうかなと思うんですが、これでよしとすればそれで構わないんですけれども、ほかの議員さんがどう思うかなんです。そこら辺がどうかなど。

○委員長（清水正二君） 私としては、基礎資料という形の中で書いていけばどうかなと思いますけれども、委員の皆様はいかがでしょう。

上から行きますか。藤原委員、いかがですか。今のこのアンケートの中に基礎資料として、ここに。

○委員（藤原正夫君） つけ加える。

○委員長（清水正二君） という形で、よろしいですか、そういう形で。

今、五味副委員長のほうから提案がありましたけれども、表題の甲斐市議会議員定数・報酬に関するアンケートというところに、下のほうに基礎資料と入れるということによろしい

ですか。

[「はい」と呼ぶ者あり]

○委員長（清水正二君） そのほかにも、ご意見ございますか。

内藤委員。

○委員（内藤久歳君） 設問4のところの増額されない場合の定数の見直しは必要ですか、この設問のその意図がよくわからないのだけれども、定数ということで、下に議員報酬があるんですよね。定数に関して、この報酬がそのままでも定数の見直しは必要かという意味という事だね。

○委員長（清水正二君） そうです。

○委員（内藤久歳君） 現状でも見直しが必要かという問いをしているということね。そういうことだよ。そのまま、これは非常にわかりづらいんだよね。

○委員長（清水正二君） 議員報酬が、今現状の中でも削減にするかという。

○委員（内藤久歳君） 増額されないとは、増額を前提になっている。増額されない場合、どうなのかと、ここ非常に設問が迷うところだよ。されない場合という表現がちょっとおかしいような気がする。

だから、要するにされない場合ということは、増額することを前提に減らすという意図があるよね、ここには。そういうことでしょう。

○委員長（清水正二君） そうですね。裏を返せばそうなりますね。

○委員（内藤久歳君） それは、やっぱり現状を踏まえる中でやるから、例えばそれは報酬についてのところで聞いたほうがいいんじゃないの。減らした場合、報酬は上げるべきですかというほうが。

俺は、上は定数をやって、報酬に関しては下で詰めていくということのほうがすっきりしていていいのかなと。定数に関して報酬もここに出てくると、非常に判断が曖昧になってきてしまう。

○委員長（清水正二君） そうですね。

この設問4は、定数とその議員報酬というものが入っているので、このニュアンスからいくと、内藤委員の言われるような捉え方にもなるかと思うので、今の内藤委員の言われるように、設問を議員報酬のほうに持って行って、ここはすっきりしたほうがどうかと思います。

○委員（内藤久歳君） 要するに、報酬と定数の関係は報酬について、定数を減らしたらどう

するのか、減らした場合、報酬は増額していいのか、そのままいいのかということになるわけでしょう、質問に関して。

だから、そういう格好で、報酬と定数は分けてやったほうがいい。

○委員長（清水正二君） 設問としては、定数を減らした場合には増額が望ましいとストレートに言ったほうがいいですよ。

○委員（内藤久歳君） そういうことですよ。定数を減らした場合には、増額に関してどう思うかという。そうしたら、ふやす、現状というような格好で答えを書くということになる。

○委員長（清水正二君） 滝川委員。

○委員（滝川美幸君） この設問4は、最後に定数の見直しは必要ですかという質問なんです。だから、これは上に議員定数に入っているということですよ。

○委員長（清水正二君） 確認の意味で、1の定数の見直しは必要ですかという、そのはい、いいえの確認の意味で議員報酬は増額されない場合も定数の見直しは必要ですかという確認を、ここで。そういう意味合いなんです。

○委員（滝川美幸君） だから、ここに定数の見直しは必要ですかということで終わっているということは、この質問はやっぱり上なんです。議員定数に対しての設問になるわけですよ。だから、ここを変えないといけないと思うんです。

今、内藤委員さんがおっしゃったようにするには、もう少し下に細かくこういう場合は必要ですか、こういう場合は必要だと思いますかということ、もう少しふやさない、ちょっと理解するのが大変なのかなと思いますけれどもいかがでしょうか。

○委員長（清水正二君） 4の設問を、もうちょっと細かく細分化したほうがいいということなんです。

休憩いたします。

休憩 午後 1時50分

再開 午後 1時58分

○委員長（清水正二君） 再開いたします。

それでは、設問4につきましては、内藤委員の言われるように、（2）の議員報酬のところに設問を移して、単純的な設問としていきたいと思っております。

それでよろしいでしょうか、このアンケートという形で。

[「はい」と呼ぶ者あり]

○委員長（清水正二君） 休憩いたします。

休憩 午後 2時01分

再開 午後 2時01分

○委員長（清水正二君） 再開いたします。

今、事務局のほうで、アンケートを急いで、できれば本会期中に回収したいという思いがありますので、今、つくり直してきますので、それを確認していただいて、アンケートを各議員に配りたいと思いますので、しばらくお待ちください。

五味副委員長。

○委員（五味武彦君） コメント欄も入れてもらえると。

○委員長（清水正二君） 今、コメント欄も入れて。

また、休憩に入ります。

休憩 午後 2時02分

再開 午後 2時02分

○委員長（清水正二君） 再開いたします。

今、アンケートのほうをつくっておりますので、そちらのほうで仕上がり次第、またお配りして、もう一度ご確認を願いたいと思います。

それでは、次に（２）市民参加による議員研修会開催についてを議題といたします。

事務局の説明を求めます。

興石係長。

○書記（興石文明君） 資料の２ページをお願いいたします。

市民参加による議員研修会開催についてでございます。

前回、日中というようなご意見もあったところですが、講師の先生、また会場の

予定等もありまして、日程のほうは11月16日金曜日、午後7時から午後9時、2時間となりました。場所につきましては、敷島総合文化会館大ホール、固定席が276席でございます。

研修内容ですけれども、議員定数、議員報酬のあり方について。講師につきましては、山梨学院大学の江藤教授。参加定員ですけれども、先ほどの固定座席プラス議員さんということで298名になります。

周知の方法ですけれども、議会だより、議会ホームページ及びチラシ1,000枚作成をして周知を行い、講師の謝礼につきましては10万円でございます。

8、参加者アンケート調査についてですけれども、調査の目的ですけれども、議員の定数、報酬に対する市民の方の意見を聴取するためということになっております。

別紙で、韮崎市さんで作成した市民参加による議員研修会の際のアンケートをお配りしてありますけれども、甲斐市のアンケートをどのようにするかご協議をいただきたいと思っております。

説明は以上です。

○委員長（清水正二君） 説明が終わりました。

これについて、どなたかご意見がございましたらお聞きしたいと思います。

松井委員。

○委員（松井 豊君） 2時間ということですが、こういったものは90分ぐらいが多いのかなと思うんですけれども、ちょっと長いというイメージと、それからもう一つ、流れとしてどういう流れになるか、ちょっと説明してください。

○委員長（清水正二君） 事務局のほうで説明を求めます。

興石係長。

○書記（興石文明君） 江藤先生のほうに依頼してあるのが1時間30分講演、残りの30分を質疑応答の時間ということでお願いしてございます。

以上です。

○委員長（清水正二君） よろしいですか。

この時間帯については、松井委員よろしいですか。

○委員（松井 豊君） はい。ちょっと長いなど。どうですかね。

○委員長（清水正二君） 一応、講師のほうの予定時間ですので、そこにいってはいろんな変動があるかと思えます。一応、予定時間として全体で2時間という枠取りをしているというご理解でお願いしたいと思います。

金丸委員。

○委員（金丸幸司君） 研修、市民の方からご意見がありますかという時間を設けてあるんですか、質疑応答というか。

○委員長（清水正二君） 先ほど、事務局から説明がありましたけれども、90分で講演をして、残りの30分を。ですから、講演が早く終われば、質疑応答の時間が長くなるかということですが。

五味副委員長。

○委員（五味武彦君） 質疑応答は、先生と市民との質疑応答ですよ。そこに議員が入ることではないんですよ。

○委員長（清水正二君） 興石係長。

○書記（興石文明君） 当然、議員さん、参加者になっていきますので、質疑できるんですけども、ただ市民の方を優先した中で、あとのほうでという形にはなろうかと思えますけれども、議員さんの研修会ですので、議員も質疑応答していただくのですけれども、市民の方を優先とする事になると思う。

○委員（内藤久歳君） 議員も質問できるのか、そこら辺をちゃんと確認しておきたい。

[発言する者あり]

○委員長（清水正二君） はい。当然、議員研修会ですから、議員のほうからも江藤先生のほうに質疑はできるということです。

ほかに。ほかありますか。

滝川委員。

○委員（滝川美幸君） このチラシを1,000枚作成ということですが、大体いつごろまでにこのチラシを作成して、私たちが誰かに配るわけですよ。その辺の日程はどうでしょうか。

○委員長（清水正二君） ちょっと休憩いたします。

休憩 午後 2時10分

再開 午後 2時11分

○委員長（清水正二君） 再開いたします。

チラシについてですが、次回までにチラシの原案をつくりまして、次回のときにそれを見て検討していただいて、10月の頭ぐらいに、そこで検討いただいて、すぐに刷るような形でもっていきたいと思いますけれども。

滝川委員。

○委員（滝川美幸君） 10月の委員会で検討してチラシをつくると、11月19日に人を集めるのはちょっと難しい気がします。

もう少し早いうちに配らないと、いろいろ日程が立て込む時期なので、なるべく早いうちにチラシができるものであればいただいたほうがいいかなと思いますけれども、いかがでしょうか。

○委員長（清水正二君） 議会中ですので、議会中の中でどこかでもう一回委員会をとるとかしていかないといけないんで、その日程どりがちょっと決算委員会等あれば、今月中にはちょっとえらいかなと思いますけれども。

休憩をとります。

休憩 午後 2時12分

再開 午後 2時19分

○委員長（清水正二君） 再開いたします。

それでは、先ほどのチラシの件ですが、チラシは一応、はやめにつくりまして、議会中にお集まりをいただいて、そこでチラシのご確認をいただいた中で印刷という形に入りたいと思います。それがよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） それでは、先ほど議員のアンケートの件につきまして、アンケート表ができましたので、きょうこれでご確認をいただきたいと思います。

このアンケート表でよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） ありがとうございます。

それでは、このアンケートを議員各位に配って回収したいと思います。

回収は、下のほうにありますけれども、回収箱を設けまして投函をいただきます。

〔「10日に配ります」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） それでは、議員研修会の件につきましては、先ほどのチラシ等、ほかにご意見があればですけれども、この内容でよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） それでは、そのように決定をいたします。

次に、議員研修会の開催が決定いたしましたのを受けまして、参加者のアンケートについて協議をいたします。

お手元に蕪崎市のアンケートが配付してありますけれども、アンケートの内容について、これを参考にご意見をいただきたいと思います。

当日、議員研修会のときに来た参加者に対しまして出すアンケートでございます。

それでは、設問1からいきます。

設問1の性別、男性、女性、この項目でよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） 次に、設問2、年齢、10代、20代、30代、40代、50代、60代、70代、80歳以上という区分けでよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） 設問3のお住まいの地域、これは蕪崎の分ですけれども、3地区でよろしいですか、竜王、敷島、双葉というふうな形で。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） それから、設問4、議会だよりについて、毎号読んでいる、ときどき読む、読まない、この設問でよろしいですか。

五味副委員長。

○委員（五味武彦君） 今回、議員定数に関するアンケートだから、議会だよりだとか、何かは、後へ持ってくるのかなと思うんですよ。裏に書いてある定数等についての項目が先に来たほうが、内容的にはいいのかなと。議会だより、ホームページとか、何かあるじゃないですか。

まず、外堀みたいところになっているんで、本丸を攻めてもいいのかなというふうに、私はそういう気がする。要するに順序の問題です。

○委員長（清水正二君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） まず、全体の中で、これ設問一つごとに要るか、要らないかという論

議もあるんだけど、全体を見たときに、お題目が議員定数というお題目で研修をすると、来た人が焦点を絞りづらい、議会全般にまで、議会と市民の対話集会の延長上みたいだけれども、今回についてはメインが議員定数と報酬に関する研修会だから、アンケートに関してもそんなに広くやる必要もないかなというふうに思う、全体として。

というのは、25問もアンケートをやったって、結構いいかげんになってしまうと思うんですよ。

だから、そういうことを考えれば、ちょっと項目を絞り込んで、さらさらとできるようなアンケートのほうがいいかなと思う。

○委員長（清水正二君） この中で、今、内藤委員と五味副委員長が言われるように、この設問の中で、これはこの中ではいいよというもののご意見をいただきたいと思います。

それでは、設問4については、これは省く方向でいいですか。

設問4は省くということによろしいですか。

松井委員。

○委員（松井 豊君） 議会だよりは、議会と市民を結ぶ物なので、よく読まれているかどうかは我々も関心のあるところなんで、これぐらいは残してもいいと思うんだけど。

○委員長（清水正二君） 私もそう思うんです。アンケートも別項目の中で、議会についてとかという項目に持っていったほうがいいかなというふうに思うんですけれども、ここの定数、議会全般について、ここでいくと。

だから、表題がこれですから、議員定数に関することを先に持っていくような形でいきたいと思いますけれども、いかがでしょう。

〔「そのあたりで」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） はい、わかりました。じゃ、議会に関することということで、別枠を設けるということで、そのものはどうでしょうか。

内藤委員。

○委員（内藤久歳君） 裏面にあるじゃないですか、定数等について。これを先に持ってきて、この順番を入れかえて、そして項目を絞り込んでいくというか、このほうが研修の趣旨からいって、来た人にわかりやすいかなという気がする。

○委員長（清水正二君） わかりました。

それでは、後でまた整理して、チラシのときと一緒に見てもらいますので、今ここでは、これは省くとか、追加するとかというところでいきたいと思います。

五味副委員長。

○委員（五味武彦君） 松井委員が議会だより必要だと言っているんですけども、2月にありますよね、もう一回、対話集会とか、何だとか、市民が。そのときに、こういう議会だよりだとか、いろんなものをまた設問したほうがいいかなと思うんですけども、ここは余りそこまで、いろんな多岐にわたってしまうと。やることは必要なんで、次の2月だか、1月の。

○委員長（清水正二君） そうですね。研修の表題も議員定数という形なんで、議員定数に絞ってやるということで。

○委員（五味武彦君） はい、そのほうがいいと思います。

○委員長（清水正二君） また、この内容については、また対話集会とか、そういった形の中でもう一回アンケートをとりますので、そのときに載せるような形で、今回は項目的に余りたくさんではなくて絞っていきたいというふうに思いますけれども、よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） それでは、設問4を省くということかどうか、どうなんですか、この辺の議会全般についてというところは。性別、年齢、お住まいの地域はあれですけども。内容として裏面のほうを1ページにしてアンケートをとりたいと思いますけれども、それでよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） それでは、そのようにします。

もう一度、裏面の定数等についての設問の中で、設問19、各種制度について複数回答可とあるんですけども、地方議員に下記制度はありませんが、今後必要と思われる制度についてチェックという、これは省きたいと思いますけれども。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） その次の設問20の議員への立候補、これも設問として省きたいと思いますけれども、よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） そうすれば、この内容で決定したいと思います。

よろしいですね。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） また、繰り返しますけれども、下の研修会についても、議会報告会

への参加、参加したい、都合が合えば参加したい、参加したくないと、設問25の議員との合同研修会、再度開催したら参加したい、都合が合えば参加したい、この2つを本日の研修会についてのアンケートから省きたいと思えますけれども。

それでは、そのようにしたいと思えますが、再度ですが、これでよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） それではそのように決定をいたします。

松井委員。

○委員（松井 豊君） このアンケートについて、ちょっと参考に質問をしたいんですが、蕪崎ではいつごろやって、どのぐらい集まったか、もしわかれば。

もう一つ、この中に出てくる議会報告会というのはどういう形式のものなのか、ちょっとよくわからない。

○委員長（清水正二君） 議会報告会は、我々の対話集会と同じ形でやっておりますので、全く同じです。

輿石係長。

○書記（輿石文明君） 蕪崎の市民参加の議員研修については、5月に開催されまして、市民が50名ほど参加されたということでございます。

アンケートの回収の数は、ちょっと把握はしておりませんが、一応そんなような状況でございます。

以上です。

○委員長（清水正二君） よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） これで、参加者のアンケートについてを終わります。

以上で、（2）市民参加による議員研修会開催についてを終わります。

続いて、（3）のその他を行います。

まず、次回の予定ですが、10月の第1週目に開催したいと思っておりますが、日時は別途ご連絡するということでよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） それでは、10月の第1週に会議を予定します。

また、協議の内容が全議員の意見聴取と市民参加の議員研修会となっておりますが、議員アンケートの結果報告と市民参加の研修会の詳細協議ということでよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） そのほかに協議事項など、ご意見がございましたらお伺いいたしたいと思います。

滝川委員。

○委員（滝川美幸君） 合同の研修会のときに、参加してくださった方に何か配る物はないですか。

○委員長（清水正二君） アンケート用紙だけです。

○委員（滝川美幸君） 例えばやはたいぬのファイルに入れて渡すとか、そういう物はないですか。

○委員長（清水正二君） 考えておりません。

○委員（滝川美幸君） そうですか。結構です。

○委員長（清水正二君） ほかにございますか。

その他ということで、委員のほうから何かございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） なければ事務局。

〔「ないです」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） それでは、その他を終了いたします。

以上をもちまして、本日の日程は全て終了いたしました。

これをもちまして、議会改革特別委員会を閉会いたします。

ご苦労さまでした。

閉会 午後 2時36分